2025年度 埼玉県中体連体操専門部競技規定

埼玉県中学校体育連盟体操競技専門部

○県大会出場に関すること

1. 男子団体、男子個人はオープン参加とする。ただし、地区予選会に出場すること。
2. 女子団体、個人は地区予選会の結果により出場する。
※女子は団体（正選手）と個人を兼ねることはできない。
※女子は個人枠で与えられた権利は本人に与えられたものであり、この権利を他人に譲ることはできない。

○代表者会議に関すること

1. 代表者会議に申込書を提出しない場合は棄権とする。なお、予選会記録の未提出者、会議への著しい遅刻も同様となる場合がある。（予選会が開けない地区は、専門委員長に必ず連絡をする）
2. 申込用紙に申請した生徒は参加料としてひとり **500円**が必要となる。代表者会議に出席する教員が集金をし、まとめて持参する。（*申込用紙は、県中体連のHPで最新のものをダウンロードする）
3. 外部指導者、テクニカルアドバイザーおよび部活動指導員*の申請もこの会議とする。なお、大会当日の指導者名が決定していない場合は、当日担当可能な指導者名を全て申請することとする。（*ここでいう部活動指導員とは学校教育法施行規則78条の2に示されているもの）
4. 学校総合体育大会の競技抽選は、男子団体の場合、新人体育大会兼県民総合スポーツ大会の上位団体4位までと団体を除く個人総合1～8位までの選手に対して、演技順を配慮する。女子は団体8位まで、団体を除く個人総合1～8位までの選手に対して、演技順を配慮する。なお、この団体枠はその地区に与えるものとする。
学校総合体育大会の抽選は、上記の新人戦大会結果上位校・上位選手を除く、団体・個人で事前に専門部で地区ごとの組み合わせを作り、そのグループによる抽選となる。
（組み合わせについては専門部に一任）
5. 個人出場で、大会当日保護者引率になる場合、この会議内容は必ず保護者・生徒に伝達することとする。

○競技に関すること

1. ユニフォームには学校マーク、およびゼッケンをつけること。
※学校マークとは、学校名もしくは校章とする。（学校名は省略でも可。ただし、頭文字のみは認めない。）
※ゼッケン番号は地区予選で団体、個人でそれぞれに割り当てられた番号を使用する。
※ゼッケンは学校で用意する。ゼッケンは縦15cm、横20cmの白布とする。
番号は男子は黒、女子は赤で明記する。
※マークの大きさは自由とするが、役員・審判が見てマークであると判断できる大きさであること。男子は3cm×3cm以上を推奨する。女子は全体の面積は30cm²以上を推奨する。
2. 選手は種目ごとの演技前に主任審判員にオーダー用紙を提出すること。記入の仕方はゼッケン順にフルネームを記入し、演技順を数字で記入する。
3. 個人選手の演技順は、団体の後についている選手はプログラム順に実施する。個人のみを編成した場合は、1種目はプログラム順に演技し、それ以降は種目ごとに繰り上がる。
4. 女子のゆか運動の伴奏は、各校で操作する。
5. 男女とも学校総合体育大会の表彰は個人4種目、団体3種目（男子あん馬、女子段違い平行棒を除く）で決定する。なお、同点の場合は、全国関東大会遵守事項に準じて同順位とする。
6. 関東中学校大会予選通過者は、団体は3種目の合計で団体総合上位2校、個人は4種目の合計で（団体出場選手をのぞいた）上位4名に与えられる。
なお、個人で権利を得た選手は団体（補欠も含む）と兼ねることはできない。
同点の場合は ※全国大会、関東大会遵守事項に準じて順位を決定する。（下記※）

※順位決定について

- ・全種目得点の中から最低点を除き、残りの種目の合計得点の高い方を上位とする。
- ・同じ得点が続く場合には、同様の方法で残りの種目の合計点を比較し、高い方を上位とする。
- ・全種目とも得点と同じ場合には、抽選にて決定する。
- ・団体については、チーム得点を同様の方法で比較し、上位を決定する。

7. 男子は（公財）日本体操協会制定2025年度版男子採点規則及び2025年度版U-15男子適用規則を適用。なお、跳馬に関しては【跳馬1】を適用する。また、ゆかにおいては「2回宙返り」のNDを適用しない。
女子は（公財）日本体操協会制定2025年度版女子採点規則・「変更規則I」女子体操競技情報最新版を適用。
8. **試合中アリーナに立ち入ることのできるのは、チームについては、監督(教員)1名、責任補助員2名(うち、外部指導者、T・Aで1名兼ねられる)の計3名まで、個人については、1名の選手につき、監督、責任補助員、外部指導者、T Aのうち、いずれか1名とする。**
9. 競技中のアリーナでの水分補給は、選手席のみとする。
10. 監督は原則として大会運営、採点(得点)に関する抗議はできない。ただし、Dスコアについての質問は、演技を行った班の競技終了後10分後まで、審判長が書面で受け付ける。
11. その他においては上記採点規則集に準じて判断し、不都合が生じた場合は、その都度常任委員会で提案協議し、承認を得て改定していくこととする。
12. 選手変更をする場合は、受付で変更届を受け取り、演技当日の朝の必要事項を記入の上、本部へ提出する。
13. 大会初日及び演技当日の受付は決められた時間までに行うこと。
14. 男女とも、出場する学校の引率教諭に対しては、本部より運営に関わる仕事を割り振る。
15. 県大会に出場する選手および部活動所属の生徒は、補助役員として仕事に携わるものとする。

○会場に関すること

1. **ビデオ・カメラ(携帯電話・スマートフォン・タブレットも含む)の撮影は、原則として出場する選手の保護者に許可する。当日、受付で申告をし、保護者証(撮影許可書)を受けたものだけとする。撮影は指定された場所のみとする。体育館の電源は使用しない。**
写真撮影においては、ストロボ、フラッシュ等は使用しない。
2. 選手・生徒への安全性を考慮し、撮影した動画・写真を、写っている選手等の許可を得ないでインターネットなどに配信することを禁止する。
3. ロビーの使用、更衣室、観覧席の使い方、自動販売機、ゴミの後始末、下足の扱い等マナーをしっかりと守ること。また、盗難、不純な目的のカメラ、ビデオ撮影については強い姿勢でこれを排除する。
4. 会場警備係として、当日保護者引率している方にも時間交代で実施して頂く。
(保護者引率とは、保護者引率規定に準じて学校長が認めた者とする。)

○施設、器具に関すること

1. 一度セッティングされた器具に問題がある場合は競技部長に連絡をとる。
2. あん馬においては、補助台の使用を認める。
3. 跳馬、鉄棒、平均台、段違い平行棒の着地において、本部指定の着地マットであれば使用を認める。

○外部指導者、テクニカルアドバイザー（以下T・A）および部活動指導員に関すること

1. 外部指導者、T・A、部活動指導員とは
  - ・外部指導者とは当該校長が人格・指導面において優れていると認めた成人であり、学校の教育方針に基づき、顧問教師の指導計画に従い、日頃から継続して運動部活動にあたっている者である。（埼玉県中学校体育連盟規定）
  - ・T・Aとは中学校の教職員で、当該校以外の他の中学校の補助・指導を行う指導者である。（全国中学校体操競技選手権大会遵守事項）
  - ・部活動指導員とは、学校教育法施行規則78条の2に示されているものである。
2. 外部指導者、T・Aおよび部活動指導員は、埼玉県中学校体育連盟に規定されたもので、中学校長が承認したものである。
3. 外部指導者、T・Aおよび部活動指導員については代表者会議で申請された者に限り、本部より指導者証を発行する。なお、大会当日は必ず本人が受付をおこない、一日単位で指導者証を返却すること。
4. 指導者証を持たないコーチについては、競技中にアリーナに入ることはできない。（練習中は別とする。）
5. 外部指導者、T・Aおよび部活動指導員は、次の事項を厳守すること。
  - (1) 運営・採点へ抗議はしない。
  - (2) 当該校の指導が終わり次第速やかにフロアーからでる。
  - (3) 監督会議には、監督とともに必ず出席する。
  - (4) セッティング・カッティングには協力する。
  - (5) 指導者証は、常に携帯し、提示できるようにしておく。
  - (6) 指導者証は、本人以外は使用を認めない。
6. 上記、専門部の指示に従わない外部指導者、T・A、部活動指導員は指導者証を回収し退場となる。次大会以降の指導者登録は専門部で検討する。

○県外競技会の指定宿泊に関すること

1. 関東大会および全国大会に出場する際の宿泊施設は、主催者側の準備した宿泊施設を利用すること。

○地域スポーツ団体等（地域クラブ）参加特例に関すること

1. 埼玉県中学校体育連盟ホームページに詳細が記載されるので確認すること。

○その他

1. 何か質問がある場合は、各地区の専門委員長に確認すること。